



2024 S-FJ Japan League Rd.2&3



Super FJ 鈴鹿・岡山シリーズ 第 2.3 戦

2024 OKAYAMA チャレンジカップレース

2024年 4月 28日 天候:晴れ/ドライ 参加16台



テキスト:はた☆なおゆき

昨年より名称を「ジャパンチャレンジ」から「ジャパンリーグ」に改めたスーパーFJの全国戦は6シーズン目を迎えて、いよいよ鈴鹿サーキットも舞台に加えることになった。これにより、スーパーFJを開催する全サーキットをカバーすることとなり、7イベント9レースで競われる。

また、1イベント2レース開催の賞金も、各レース全額賞金となった。加えて、地方選手権のシリーズ賞金もチャンピオンが10万円から20万円に、2位が6万円から10万円に、そして3位が4万円から5万円に増額されたことも、今回発表された。

第2イベントの舞台は岡山国際サーキットで、鈴鹿・岡山シリーズ第2戦、第3戦との共催となる。今回のエントリーは16名ながら、鈴鹿での第1戦のウィナー#56 迫隆真選手(制動屋)を筆頭に、その時の上位陣はほぼ顔を揃え、また関東から2名の遠征ドライバーもいて、パドックには活気が十分にあった。

また、多くの若手選手の参加があり、15才が2名、16才が3名、17才が2名、19才が2名というように、未成年の選手が過半数を占め、名実共にフレッシュなレースが展開された。

公式予選

今年初の1イベント 2 レース開催だが、予選は1回のみ。レース2のグリッド決定は、おなじみのリバースグリッドとされ、レース1の結果に基づき、上位 6 名のみ入れ替えられる。

暑過ぎず、寒過ぎず、ちょうどいいコンディションの中、早朝8時 15 分から予選は15 分の計測でスタート。それぞれ計測 1 周目はウォームアップに充て、計測 2 周目からアタックを開始する。

まずトップに立ったのは#1 元山泰成選手 (Ecotech Works) で 1 分 39 秒 697 をマークし、これに #7 松井悠真選手 (FTK レヴレーシングガレージ) が、1 分 39 秒 926 で続く。計測 3 周目には #56



迫選手が 1 分 39 秒 255 でトップに立って、#1 元山選手も 1 分 39 秒 344 まで詰めるも 2 番手に。そして 3 番手には 1 分 39 秒 514 を記した、今回がデビュー戦の #10 杉田悠真選手 (レヴレーシング with LAPS) がつける。

今回の予選は、まるでシーソーゲーム。計測 4 周目には #56 迫選手が 1 分 38 秒 968 を出すが、間もなく上回ってきたのが 1 分 38 秒 951 を記した #10 杉田選手だ。計測 5 周目のトップは 1 分 38 秒 744 まで詰めてきた #7 松井選手で、1 分 38 秒 787 の #56 迫選手、1 分 38 秒 798 の #1 元山選手、1 分 38 秒 942 の #10 杉田選手の順で続く。ただし、この後、#7 松井選手はタイムが伸び悩む。計測 6 周目は #10 杉田選手が 1 分 38 秒 666 で再びトップに立ち、#56 迫選手が 1 分 38 秒 689 で 2 番手に。両者ともに計測 7 周目はタイムを落とすも、ラストアタックですべてが決した。#56 迫選手が 1 分 38 秒 664 を出してトップに返り咲いたかと思われたが、直後に #10 杉田選手が 1 分 38 秒 550 を絞り出し、ポールポジションを獲得した。

#10 杉田選手は 2008 年の 12 月 11 日生まれの 15 歳。今回がデビュー戦なのは先に触れたとおりだが、勝てば昨年 SUGO で豊島里空斗選手が達成した、15 歳 10 か月での初優勝を 5 か月更新することになる。果たして？

2 番手は #56 迫選手で、3 番手が #7 松井選手。元山選手は 1 分 38 秒 879 で 4 番手、5 番手が 1 分 38 秒 937 の #43 小田優選手 (Drago CORSE TAKE) で、6 番手は 1 分 38 秒 954 の #31 加納康雅選手 (イーグルスポーツ) だった。

ポールポジション: #10 杉田悠真選手 (レヴレーシング with LAPS)

「タイヤを使うのはうまくできたので、あとは四脱が不安というところですね。今回が初レースで、今 15 歳で大阪出身です。モータースポーツの経験は、カートをちょこっとやったぐらいで、あとはシミュレータや岡山で走ったぐらいです。ライセンスはフランスでフォーミュラをちょこっとやって、それで取りました。」



予選 2 番手: #56 迫隆眞選手(制動屋)

「悔しいですね、コンマ 1 秒足りなくて。ラスト 2 周ぐらいでミスしちゃったので、1 周捨てて、次の周に行ったんですけど、タイムは最終的に上げられましたが、ちょっと残念です。みんな接戦なので、バトルでしっかり1位に行けたらと思っています」



予選 3 番手: #7 松井啓人選手(FTK レヴレーシングガレージ)

「岡山を走るのには 2 年半ぶり、その間は1回も走ってなくて。でも鈴鹿の第1戦に出て決勝は悪かったんですが、予選は5位で。岡山は金曜日から走り始めて、最初からうまく走れたというか、車と一体になって良かったです。予選に関しては自分の中のフィーリングが、練習とは違う面があって、ちょっと戸惑いましたが、でもコンマ 2 秒の差ですね、トップとは。彼は岡山をずっと走っていますし、いろんなことを吸収できていると思います」



決勝レース 1



シリーズ第2戦ことレース 1 は 12 週の争い。引き続き天候には恵まれた。先述のように 16 名のエントリーのうち、実に 9 名が 10 代。15 才のドライバーが 2 名もいるのだが、あらためてエントリーフォーミュラとして、高く評価されていることの表れと言えるだろう。

スタートを待つ直前に珍事が、デビューレースをポールで迎えた 15 歳の杉田選手だが、フォーメーションラップを終えると、なんと本来のグリッドを通り過ぎて、計測ライン手前にマシンを止めたのだ。これにつられてしまう選手が 8 名も同様にグリッド間違いを……。やむなくスタートディレイとなって、再びフォーメーションラップを行い、1 周減の 11 周で競われることとなった。

これで動揺したのか、#10 杉田選手は痛恨のエンジンストール！ 難なく#56 迫選手がトップに立ち、さらに#1 元山選手が 2 番手に浮上する。しかし、#1 元山選手はヘアピンで#7 松井選手に並ばれ、リボルバーで 3 番手に順位を落とす。

1 周目を終えてトップで#56 迫選手が戻ってくるが、#7 松井選手はコンマ 2 秒差で続いて、逃げを許さず。そこから 1 秒遅れて#1 元山選手と#31 加納選手、そして#43 小田選手が 3 番手を競い合う。この時点で#10 杉田選手は 10 番手だ。ファステストラップを連発して後ろを離そうとする#56 迫選手ながら、負けじと#7 松井選手は食らいついていき、ようやく 1 秒の差がついたのが 4 周目。そこからはじわりじわりと間隔を広げていき、最後は独走となっていた。

やがて#7 松井選手も単独走行となる中、最後まで激しく続いていたのが 3 番手争いだ。特に#1 元山選手と#31 加納選手が何度もポジションを入れ替え合っていたが、最後の決め手となったのは 9 周目の Wヘアピン。ここで#31 加納選手が前に出た。さらに、その激しさゆえに、着実に順位を上げてきた、#10 杉田選手がグループの背後に追いつくまでに。#43 小田選手をかわすまでには至らなかったが、それは懸命な選択だったとも言える。6位でゴールしたことによって、レース2もまたポールポジションで臨めるのだから。「硬くなってしまっ…。今回のことを、ちゃんと反省して、次のレースにつなげていきたいと思います。頑張ります」と#10 杉田選手。



ウィナー：#56 迫隆真選手(制動屋)

「ポールの子が前に行ったから、横に並ぼうと思っていたらグリッド位置が違って、僕もびっくりしました(苦笑)。すいません本当に。レースペースは良かったので、次のレースは 6 番手からのスタートですが、この調子だったら追い上げていけると思うので、淡々と行きます」



2位：#7 松井悠真(FTK レヴレーシングガレージ)

「かなり 1 周目は良かったですね、トップまで行けるんじゃないかと思ったんですけど。でも、中盤ぐらいからタイヤがタレちゃって、タイヤを労わりながらの走行でした、最後の方は。そこがちょっと惜しかったですけど、車も自分も見直せる場所はあると思います。とにかくスタートがうまく切れたのが良かったです」



3位：#31 加納康雅選手(イーグルスポーツ)

「序盤のうちに 3 番手あたりにいたら、もっと展開が違っていただかなとは思いますがね。思いっきり行きました、そうじゃないと絶対に抜かせてくれないと思っていたので。次も 4 番手からのスタートですが、頑張っていきます」



決勝レース 2



レース2も 12 週の争いで、前述のとおりトップ6のリバースグリッドとあって、再び#10 杉田選手がポールポジションにつき、真横に並んだのが#43 小田選手。以下、#1 元山選手、#31 加納選手、#7 松井選手、そして#56 迫選手の順となる。

誰よりスタートを決めたのが#43 小田選手だ。#10 杉田選手をかわして、1 コーナーへのホールショットを決める。そしてスタートでも1台を抜いていた#56 迫選手は、ヘアピンで4番手に浮上。2周目のヘアピンでも、#31 加納選手を抜いて3番手に躍り出る。

その間にほぼ1秒のマージンを築いていた#43 小田選手だったが、ペースを思うように上げられずにいた。さらに#10 杉田選手も#56 迫選手の応戦一方に。4周目のヘアピンで、アウトから被せてきた#56 迫選手を抑えたものの、続くリボルバーでインを刺され、3番手に後退する。



勢いに乗る#56 迫選手は、そのまま#43 小田選手にも近づいていく。6周目には真後ろにつけたが、あえて無理をしなかったのは明らかだ。満を持して9周目のヘアピンでインを刺し、ついにトップに躍り出た。そのまま逃げ切った#56 迫選手は、これで開幕3連勝！

#43 小田選手に続く3位フィニッシュとなった#10 杉田選手だったが、最後に意地を見せた。最終ラップにファステストラ

ップとなる1分38秒945を叩き出したのだ。デビューウィンでの最年少記録更新とはならなかったが、鈴鹿・岡山シリーズだけでもまだ3戦のチャンスがある、是非とも狙って欲しいものだ。

4位は#7 松井選手が獲得。序盤は#31 加納選手、#1 元山選手とバトルを繰り広げていたが、4周目にひとつ、5周目にまたひとつ順位を上げてからは、後続を引き離すように。そして#31 加納選手と#1 元山選手の5位争いは最後まで続いたが、ここは固いガードが光った#31 加納選手に軍配が。



また、岡山のレースに設けられた、ジェントルマンクラスでは#81 妹尾俊朗選手が連勝。岡山をホームコースとするドライバーとして意地を見せた。

次のレースはジャパンリーグが 5 月 26 日に筑波サーキットで、そして鈴鹿・岡山シリーズが 5 月 11～12 日に鈴鹿サーキットで第4戦、第5戦として開催される。



ウィナー：#56 迫隆眞選手(制動屋)

「スタートがいつもより成功して、ペースも良かったので、淡々と追いつけるだけで、はい。いいレースができました。最終ラップだけ抑えました。えっ、ファステスト持っていかれたんですか、最後に？ せっかくならパーフェクトでいきたくたんですけど、勝つことが重要なので、とりあえず勝てて良かったです。これで 3 連勝、このまま行きます！」

2位：#43 小田優選手(Drago CORSE TAKE)

「もともとペースがないのは分かっていたんですが、逆に自分の中では、あそこまでトップ走っていたのがビックリというか、もう早々に抜かれると思っていたので、スタートでちょっと序盤にリード築いたのが良かったですね」

3位：杉田悠真選手(レヴレーシング with LAPS)

「レース 1 の仇を取れたとまでは言えませんが、スタートは課題ですね、いちばん大事です。やっぱり最後の走りを序盤からできていれば、結果はまた違ったと思うので、これからは最初から全力で、自分の力を最大限出せるように持っていきたいと思います。最終ラップにファステスト出せたのは良かったです」



ジェントルマンの表彰



CHALLENGE CUP RACE 2024 OKAYAMA International Circuit

NO 3

2024 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第3戦
鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第2戦・第3戦 (SUPER-FJ ジャパンシリーズ*)
第2戦 公式予選 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)

2024.04.28 発表 9:30

天候：晴れ

コース状況：ドライ

スタート時間：8:15:00

チェッカー時間：8:30:00

岡山国際サーキット 3.703km

順位	ゼッケン	ドライバー	モデル	車名	ベストタイム	トップ差	Gap	周回	%	ベスト時刻
1	10	杉田 悠真	KK-S II	レヴレーシングwith LAPS	1'38.550			9/9	99.895	08:31:16
2	56	迫 隆真	KK-S II	制動屋	1'38.664	0.114	0.114	9/9	100.011	08:30:28
3	7	松井 啓人	KK-S II	FTKレヴレーシングガレージ	1'38.744	0.194	0.080	6/9	100.092	08:25:39
4	1	元山 泰成	KK-S II	Ecotech Works	1'38.879	0.329	0.135	6/9	100.229	08:25:33
5	43	小田 優	KK-S II	Drago CORSE TAKE	1'38.937	0.387	0.058	8/9	100.288	08:29:08
6	31	加納 康雅	KK-S II	イーグルスポーツ	1'38.954	0.404	0.017	8/9	100.305	08:28:40
7	29	松本 拓海	KK-S II	EAGLE ERS	1'39.086	0.536	0.132	8/9	100.439	08:28:43
8	11	梅本 幸汰	KK-S II	Rn-sports制動屋KK-S2	1'39.149	0.599	0.063	8/9	100.503	08:28:54
9	99	Aki Jitrnuwath	KK-S II	ATEAM Buzz Racing	1'39.577	1.027	0.428	8/9	100.936	08:29:03
10	22	酒井 翔太	KK-S II	ファーストガレージ KK-S II	1'39.589	1.039	0.012	8/9	100.949	08:28:56
11	57	東 慎之介	KK-S II	サンセルモORM/MYST	1'39.612	1.062	0.023	9/9	100.972	08:30:43
12	2	吉田 紘大	KK-S II	ATEAM Buzz Racing	1'39.681	1.131	0.069	9/9	101.042	08:30:44
13	55	板倉 慎哉	KK-S II	AMORE TOKYO Racing F	1'39.705	1.155	0.024	9/9	101.066	08:30:51
14	81	G 妹尾 俊郎	RD10V	SSEC☆KRS☆10V	1'39.770	1.220	0.065	7/9	101.132	08:27:41
15	47	G 山根 一人	KK-S II	光精工 TK-Sport MYST	1'39.952	1.402	0.182	8/9	101.317	08:29:27
16	▲ 33	磐上 隼斗	KK-S II	アルビ富士吟景GIAED	1'40.212	1.662	0.260	5/6	101.580	08:24:54

----- 以上予選通過基準タイムクリア -----

クラス：G=ジェントルマント ライバークラス

予選通過基準タイム (130%) 2'08.249

2024 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第3戦
鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第2戦・第3戦 (SUPER-FJ ジャパンシリーズ*)
第2戦 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)

2024.04.28 発表 12:30

天候：晴れ

コース状況：ドライ

スタート時間：10:52:09

チェッカー時間：11:10:32

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	▲ 56	迫 隆真	KK-S II	制動屋	11	18'22.990	132.947		1'39.377	9
2	▲ 7	松井 啓人	KK-S II	FTKレヴレーシングガレージ	11	18'25.236	132.676	2.246	1'39.617	6
3	▲ 31	加納 康雅	KK-S II	イーグルスポーツ	11	18'28.247	132.316	5.257	1'39.674	6
4	▲ 1	元山 泰成	KK-S II	Ecotech Works	11	18'28.905	132.237	5.915	1'39.571	6
5	▲ 43	小田 優	KK-S II	Drago CORSE TAKE	11	18'29.369	132.182	6.379	1'39.813	11
6	▲ 10	杉田 悠真	KK-S II	レヴレーシングwith LAPS	11	18'30.696	132.024	7.706	1'39.072	9
7	▲ 29	松本 拓海	KK-S II	EAGLE ERS	11	18'33.044	131.746	10.054	1'39.470	10
8	57	東 慎之介	KK-S II	サンセルモORM/MYST	11	18'37.271	131.247	14.281	1'40.169	10
9	▲ 99	Aki Jitrnuwath	KK-S II	ATEAM Buzz Racing	11	18'38.163	131.143	15.173	1'40.421	7
10	22	酒井 翔太	KK-S II	ファーストガレージ KK-S II	11	18'38.580	131.094	15.590	1'40.421	10
11	55	板倉 慎哉	KK-S II	AMORE TOKYO Racing F	11	18'39.023	131.042	16.033	1'40.256	8
12	33	磐上 隼斗	KK-S II	アルビ富士吟景GIAED	11	18'42.995	130.578	20.005	1'40.630	10
13	2	吉田 紘大	KK-S II	ATEAM Buzz Racing	11	18'44.339	130.422	21.349	1'40.728	8
14	81	G 妹尾 俊郎	RD10V	SSEC☆KRS☆10V	11	18'45.023	130.343	22.033	1'40.843	11
15	47	G 山根 一人	KK-S II	光精工 TK-Sport MYST	11	18'46.704	130.148	23.714	1'40.849	8
----- 以上完走 -----										
	▲ 11	梅本 幸汰	KK-S II	Rn-sports制動屋KK-S2	4	6'51.605	129.549	7 Laps	1'40.492	4

本決勝レースは、2024 OKAYAMAチャレンジカップ レース 特別規則 第9章 第31条 3. ⑧ (スタートデイルド) により1周減算の11周にて行った。

クラス：G=ジェントルマント ライバークラス

完走周回数 9Laps

参加台数：16台 出走台数：16台

ベストラップ： 10 杉田 悠真 1'39.072 9/11 134.557km/h



2024 OKAYAMAチャレンジカップレース 第3戦
 鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第2戦・第3戦 (SUPER-FJ ジャパンシリーズ)
第3戦 決勝 スターティング グリッド

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)
 2024.04.28 発表 12:39

岡山国際サーキット 3.703km

1 位 10 杉田 悠真 KK-SII レグレーシングwithLAPS	2 位 43 小田 優 KK-SII Drago CORSE TAKE
3 位 1 元山 泰成 KK-SII Ecotech Works	4 位 31 加納 康雅 KK-SII イーグルスポーツ
5 位 7 松井 啓人 KK-SII FTKレグレーシングガレージ	6 位 56 迫 隆真 KK-SII 制動屋
7 位 29 松本 拓海 KK-SII EAGLE ERS	8 位 57 東 慎之介 KK-SII サンセルモORM/MYST
9 位 99 Aki Jitrnuwath KK-SII ATEAM Buzz Racing	10 位 22 酒井 翔太 KK-SII ファーストガレージ KK-SII
11 位 55 板倉 慎哉 KK-SII AMORE TOKYO Racing F	12 位 33 磐上 隼斗 KK-SII アルビ富士吟景GIAED
13 位 2 吉田 紘大 KK-SII ATEAM Buzz Racing	14 位 81 妹尾 俊郎 RD10V SSEC☆KRS☆10V
15 位 47 山根 一人 KK-SII 光精工 TK-Sport MYST	16 位 11 梅本 幸汰 KK-SII Rn-sports制動屋KK-S2

CHALLENGE Cup RACE 2024 OKAYAMA International Circuit

No 30

2024 OKAYAMAチャレンジカップレース 第3戦
鈴鹿・岡山S-FJ選手権 第2戦・第3戦(SUPER-FJ シゃハ`ンシリーズ)
第3戦 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイタ`クラブ (AC)

2024.04.28 発表 15:37

天候：晴れ

コース状況：ドライ

スタート時間：14:38:06

チェッカー時間：14:58:07

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	56	迫 隆真	KK-SII	制動屋	12	20'00.794	133.220		1'38.985	9
2	43	小田 優	KK-SII	Drago CORSE TAKE	12	20'02.132	133.072	1.338	1'39.194	8
3	10	杉田 悠真	KK-SII	レヴレーシングwith LAPS	12	20'02.281	133.055	1.487	1'38.945	12
4	7	松井 啓人	KK-SII	FTKレヴレーシングガレージ	12	20'05.583	132.691	4.789	1'39.181	11
5	31	加納 康雅	KK-SII	イーグルスポーツ	12	20'08.944	132.322	8.150	1'39.614	12
6	1	元山 泰成	KK-SII	Ecotech Works	12	20'09.424	132.269	8.630	1'39.639	8
7	29	松本 拓海	KK-SII	EAGLE ERS	12	20'12.482	131.936	11.688	1'39.822	12
8	99	Aki Jitrnuwath	KK-SII	ATEAM Buzz Racing	12	20'17.952	131.343	17.158	1'40.176	9
9	11	梅本 幸汰	KK-SII	Rn-sports制動屋KK-S2	12	20'22.049	130.903	21.255	1'40.375	11
10	22	酒井 翔太	KK-SII	ファーストガレージ KK-SII	12	20'22.479	130.857	21.685	1'40.435	11
11	2	吉田 紘大	KK-SII	ATEAM Buzz Racing	12	20'22.961	130.805	22.167	1'40.152	10
12	81	G 妹尾 俊郎	RD10V	SSEC☆KRS☆10V	12	20'24.068	130.687	23.274	1'40.143	10
13	33	磐上 隼斗	KK-SII	アルビ富士吟景GIAED	12	20'26.719	130.404	25.925	1'40.311	9
14	47	G 山根 一人	KK-SII	光精工 TK-Sport MYST	12	20'26.980	130.377	26.186	1'40.352	10
15	55	板倉 慎哉	KK-SII	AMORE TOKYO Racing F	12	20'45.941	128.393	45.147	1'40.144	9
16	57	東 慎之介	KK-SII	サンセルモORM/MYST	11	18'38.092	131.151	1 Lap	1'39.646	11

——以上完走——

クラス：G=ジ`ェントルマント`ライハ`ークラス

完走周回数 10Laps

参加台数：16台 出走台数：16台

ベストラップ： 10 杉田 悠真 1'38.945 12/12 134.729km/h

